

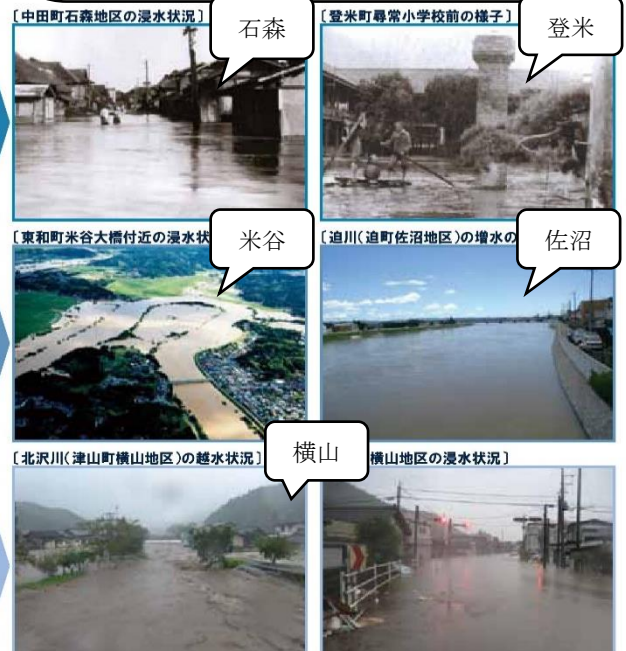
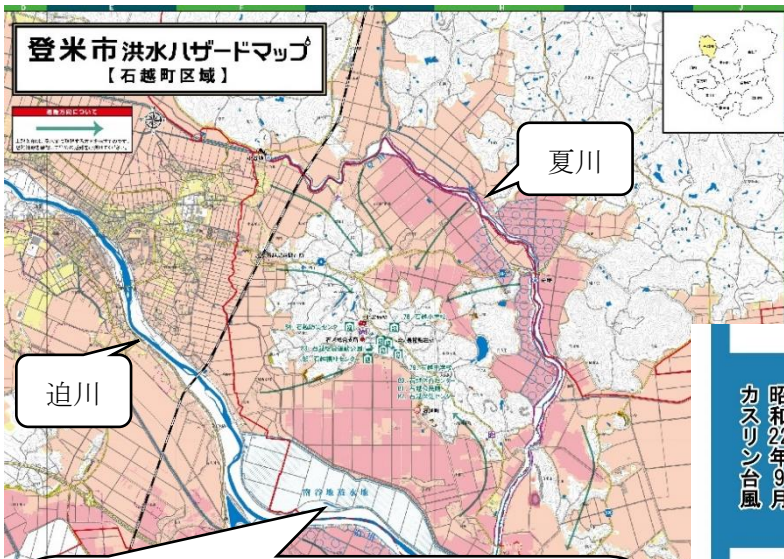
## 防災講話 〈洪水から身を守る〉



9月1日は防災の日でした。日曜日でしたが、テレビではそれぞれの地域で災害時の対応の仕方などについて訓練している様子が映し出されていました。

さて、とりもなおさず石越小学校でも防災意識の高揚を目指して、19日の1時間目は防災講話を行いました。今回は「洪水から身を守る」をテーマに行いました。

台風による風雨、雷、そして川の増水。迫川と夏川に囲まれた石越地区だからこそ意識を高くもってほしいものです。



昭和22年9月  
カスリン台風

平成14年7月  
台風6号

平成21年10月  
台風18号

これは登米市で作成した洪水ハザードマップ（石越地区域）です。雲の発生の仕方と動き、雷や雨による川の増水の危険性などの啓発DVDを視聴した後、石越町の洪水の危険性と、避難所についてお話をしました。

その後は各教室に戻り、防災副読本「未来へのきずな」で学年に合わせた学習の振り返りを行いました。「自分の命は自分で守る」意識をもってほしいと思います。

講話の最後に、実際に登米市でも過去には洪水の被害があったことを紹介しました。昭和22年のカスリン台風では石森地区の浸水した写真を。また平成に入ってから、14年の東和町米谷大橋付近の洪水、21年には横山地区の浸水の様子を紹介しました。

雷が遠くであっても聞こえたらすぐに建物の中に避難する。木には近寄らない。川のそばから離れる。そしてこの他にも土砂災害等も想定し、避難所の確認もしておくことは大切です。ご家庭におかれましてもお子さんと確認し、地域について知る機会をもつことも大切なことです。一緒に話し合ってみましょう。